

平成21年度事業報告

1. 総会を平成21年5月20日に福岡市において開催した。
2. 理事会を3回(6月14日、9月26日、12月26日)、メール審議による臨時理事会を1回(7月15日～17日)開催した。
3. 機関誌「産業衛生学雑誌」及び「Journal of Occupational Health」(第51巻:和文6冊、英文6冊、学会号1冊[CD版])を発行した。
4. 第82回日本産業衛生学会を、平成21年5月19日～22日に福岡市で開催した。(九州地方会担当、田中勇武企画運営委員長)
5. 第19回産業医・産業看護全国協議会を平成21年11月5～8日に秋田市で開催した。(東北地方会・産業医部会・産業看護部会・産業歯科保健部会担当、広瀬俊雄企画運営委員長)
6. 第18回産業衛生技術部会大会を、平成21年12月12日に東京都で開催した。
7. 9地方会活動(北海道、東北、関東、北陸甲信越、東海、近畿、中国、四国、九州)を行った。
8. 4部会活動(産業医部会、産業看護部会、産業衛生技術部会、産業歯科保健部会)を行った。
9. 6常設委員会活動を行った。
(1)編集委員会 (2)許容濃度等に関する委員会 (3)生涯教育委員会 (4)労働衛生関連法制度検討委員会 (5)専門医制度委員会(6)倫理審査委員会
10. 31研究会活動を行った。
(1)産業疲労研究会 (2)振動障害研究会 (3)職業性呼吸器疾患研究会 (4)中小企業安全衛生研究会 (5)有機溶剤中毒研究会 (6)産業精神衛生研究会(7)放射線原子力保健研究会 (8)作業関連性運動器障害研究会 (9)アレルギー・免疫毒性研究会 (10)労働衛生史研究会 (11)VDT作業研究会 (12)健康教育・ヘルスプロモーション研究会 (13)アルコール問題研究会 (14)生物学的モニタリング・バイオマーカー研究会 (15)労働者体力問題研究会 (16)産業神経・行動研究会 (17)温熱環境研究会 (18)労働衛生国際協力研究会 (19)就労女性健康研究会 (20)産業疫学研究会 (21)産業保健情報システム研究会(産業保健政策研究会) (22)化学物質取扱い産業保健研究会 (23)産業保健マーケティング研究会 (24)職域における睡眠呼吸障害研究会 (25)職域における喫煙対策研究会 (26)医療従事者のための産業保健研究会 (27)産業栄養研究会 (28)エイジマネジメント研究会 (29)産業心理技術研究会 (30)非正規雇用研究会 (31)騒音障害防止研究会
11. 名誉会員推薦は3名、奨励賞3名、功労賞1名に授与した。
12. 専門医制度について、指導医及び専門医の更新手続きと専門医資格認定試験を行った。
平成21年12月現在、指導医412名、専門医153名が登録された。研修登録医は405名である。
13. 産業看護師は、平成21年12月現在1,391名が登録された。
14. 8の学協会の開催について、協賛・後援した。
15. 厚生労働省定例監査(7月29日)に対応した。

第82回日本産業衛生学会の開催について

(企画運営委員長 田中 勇武)

第82回日本産業衛生学会・特別研修会は、九州地方会が担当し、企画運営委員会ならびに実行委員会を組織し、福岡国際会議場(福岡市博多区)において、平成21年5月20日から23日まで開催された。今回の学会には、2,470名、特別研修会には280名、懇親会には約500名の参加があった。学会直前に新型インフルエンザの感染拡大が始まったため、対策委員会を組織し、入口での消毒液設置などの対応もなされた。

一般演題は、口演226題、ポスター385題が発表された。また会期中に47の委員会・研究会・自由集会も開催された。

メインテーマには、「超高齢社会を迎える日本 その産業保健戦略は」を取り上げ、メインシンポジウムを開催した。また学会奨励賞の受賞講演3題に続いて、メインテーマに沿う企画として、「生涯現役への挑戦」と題して、加藤一二三日本将棋連盟九段に特別講演をお願いした。

シンポジウムでは「インジウム肺：基礎・臨床・疫学研究の協同による因果関連の確立」「特定保健指導に有効な介入法についての検討」「現代人の健康と食生活」「産業保健活動の研究発表に関する疫学倫理上の諸問題」「グローバリズムと心豊かな生活・労働」「特殊健診における生物学的モニタリングの現状と課題」「働くことの価値そして健康効果」「各世代の労働者に見られるメンタルヘルス不調の特徴と対策」「工業用ナノ材料のハザード・リスク評価」「職域における喫煙対策、「これまで」と「これから」」「産業保健における睡眠障害対策の重要性」「これからの日本産業衛生学会専門医制度のあり方」「職場のメンタルヘルス最前線」「これからの医療従事者の産業保健：多用な課題とグッドプラクティス」「超高齢社会を支える女性労働者の健康支援」の15テーマが討論された。

各部会によるフォーラムも「企業の中の産業医の役割」「保健指導の目指すべき方向性」「労働者の高齢化と安全衛生管理」「産業歯科保健のゆるやかな再構築のために」が開催された。

特別研修会では、粉じん計、検知管、騒音計、呼吸用保護具等を用いて、少人数での作業環境管理・作業管理の実習も実施された。

終わりに、学会にご参加いただいた会員の皆様、シンポジスト、演者、運営にご尽力いただいた顧問、監事、企画運営委員、プログラム委員及び実行委員とその教室員の皆様、物心両面から応援くださった関係各位に心より感謝申し上げます。

第19回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会

(企画運営委員長 広瀬 俊雄)

平成21年11月5日(木)から8日(日)の4日間にわたり、秋田市において開催した。メインテーマを「職場における『健康力』と産業保健」とし、“部会合同企画を前面に”，“合同セミナーの発表を全体で聴く”，“原則一会場”を基本方針としてプログラムを編成した。初日は激しい雷雨，2日目は濃霧で引き返した飛行機もあったにも関わらず，400名を上回る参加者を得た。5回に渡って継続的な取り組みとなったりレールワークショップを集大成したメインシンポジウム「働く人の健康を生み出す職場づくり」，シンポジウム「職場における自殺予防」，4部会合同(職場改善)セミナー，産業医部会企画「職場の健康力を高める産業医活動報告」，産業看護部会企画「『健康力』を高める産業看護活動」，産業歯科保健フォーラム「職域における歯科健診の新たな展開」，産業栄養研究会「産業衛生分野における職種間の連携と協働を考える」等が行われ，活発な討議が繰り広げられるとともに産業保健上の課題克服に向けて様々な提言が示された。ポスター発表も40演題集まり，活発な質疑応答が行われた。会期中に専門医認定証授与式も行われた。4部会合同セミナー合同実地研修は株式会社タニタ秋田(大仙市)のヘルスマーターなどの医療用具を一貫生産している工場において行われ，ワークショップ，翌日のプレゼンテーションと素晴らしい企画となった。「教材作り実行委員会」による教材の説明会も行い「取り組みの蓄積から普及へ」として，現場改善に役立つ「産業人間工学の力」を身に付ける機会となった。「JR東日本秋田支社」「TDK鳥海工場」「秋田酒類製造(高清水醸造元)」で実地研修も行われた。今回の協議会では現在の重要で緊急の課題でもある「職場の自殺予防」を取り上げ，この課題の第一人者であり今回の開催地である秋田県において地域的な「自殺予防」で大きな成果をあげている秋田大学大学院の本橋豊教授(東北地方会長・理事)に，このテーマでのシンポジウムの企画・担当して頂いた。シンポジウムに引き続く東京大学大学院の川上憲人教授によるランチョンセミナー「職場のメンタルヘルスの最近の研究成果」も合わせて大変有意義であった。3日目の11月7日(金)には秋田温泉さとみにて懇親会が盛大に行われ，併せて産業医部会と産業看護部会からポスター優秀賞が授与された。

平成22年度事業計画

1. 総会を平成22年5月26日に福井市において開催する。
2. 理事会を4回開催する。
3. 機関誌「産業衛生学雑誌」及び「Journal of Occupational Health」(第51巻: 和文6冊、英文6冊、学会号1冊)を発行する。
4. 第83回日本産業衛生学会を、平成22年5月26日～28日に福井市で開催する。(北陸甲信越地方会担当、日下幸則企画運営委員長)
5. 第20回産業医・産業看護全国協議会を、平成22年10月13～16日に、札幌市で開催する。(北海道地方会・産業医部会・産業看護部会・産業歯科保健部会担当、清田典宏企画運営委員長)
6. 第19回産業衛生技術部会大会を開催する。
7. 9地方会活動(北海道、東北、関東、北陸甲信越、東海、近畿、中国、四国、九州)を行う。
8. 4部会活動(産業医部会、産業看護部会、産業衛生技術部会、産業歯科保健部会)を行う。
9. 7常設委員会活動を行う。
(1)編集委員会 (2)許容濃度等に関する委員会 (3)生涯教育委員会 (4)労働衛生関連法制度検討委員会 (5)専門医制度委員会 (6)表彰制度に基づく選考委員会 (7)倫理審査委員会
10. 30研究会活動を行う。
(1)産業疲労研究会(2)振動障害研究会(3)職業性呼吸器疾患研究会(4)中小企業安全衛生研究会(5)有機溶剤中毒研究会(6)産業精神衛生研究会(7)放射線原子力保健研究会(8)作業関連性運動器障害研究会(9)アレルギー・免疫毒性研究会(10)労働衛生史研究会(11)VDT作業研究会(12)健康教育・ヘルスプロモーション研究会(13)アルコール問題研究会(14)生物学的モニタリング・バイオマーカー研究会(15)労働者体力問題研究会(16)産業神経・行動研究会(17)温熱環境研究会(18)労働衛生国際協力研究会(19)就労女性健康研究会(20)産業疫学研究会(21)産業保健政策研究会(22)産業保健マーケティング研究会(23)職域における睡眠呼吸障害研究会(24)職域における喫煙対策研究会(25)医療従事者のための産業保健研究会(26)産業栄養研究会(27)エイジマネジメント研究会(28)産業心理技術研究会(29)非正規雇用研究会(30)騒音障害防止研究会(31)交通における安全と産業衛生の研究会
11. 平成21年度学会賞・奨励賞・功労賞を授与し、平成22年度名誉会員・学会賞・奨励賞・功労賞の推挙を行う。
12. 専門医資格認定試験の実施、指導医及び専門医の更新、専門医からの指導医認定を行う。
13. 産業看護師の登録を行う。
14. 国際協力の一環として、国際学会開催の援助およびアジアを中心とした学会誌の無償配布を行う。
15. 学会サーバーを更新し、ホームページおよびデータベースの管理・改良を行う。
16. 法人改革に関する検討を行う。
17. 役員改選を行う。